



泉の子

令和 8 年 2 月 16 日

泉小学校

学校便り 臨時号



「学校に関するアンケート」結果報告

11月下旬に行った「学校に関するアンケート」に御協力いただき、ありがとうございました。集計結果は以下のようになりました。頂いた評価及び自由記述からの御意見を参考に、来年度の教育活動に生かしていきたいと思えます。

【保護者】(4. そう思う 3. だいたいそう思う 2. あまりそう思わない 1. そう思わない 0. 分からない)

4点満点中の平均点を100%として算出

①	お子さんは、学習や生活で自分の思ったことや考えたことを友達や教師に自分の言葉で説明したり、伝えたりすることができている。	71%
②	お子さんは、友達の思いや考えを大切にし、あたたかく受け止めることができている。	81%
③	お子さんは、課題や活動に対して自分の適性や役割を自覚し、自分なりに目標をもって、取り組んでいる。	75%
④	お子さんは、課題を解決しようと、粘り強く努力したり、友達と協力したりしながら、進んで取り組んでいる。	74%
⑤	お子さんは、これまでの学習や活動を振り返って「分かるようになった。」「できるようになった。」と、お子さん自身が自分の成長を感じている。	79%
⑥	お子さんは、学校に行くことを楽しいと思っている。	81%
⑦	学校は、いじめを見逃さないようお子さんに寄り添った指導をしている。	78%
⑧	学校は、保護者の思いや悩みについて、面談時に限らずいつでも相談しやすい体制になっていて、解決に向けて話し合いができる。	78%
⑨	保護者として、登下校の活動に取り組んだり、コミュニティ・スクールの一員となり、授業や活動に講師やボランティアとして積極的に参加したりして、子供たちの活動や学び、安全のために協働している。	64%
⑩	保護者として、日々の生活の中でお子さんの頑張りや良さを認め、お子さんにそれを伝えることができている。	81%

【児童】

①	あなたは、学習や生活で自分の思ったことや考えたことを友達や先生に自分の言葉で説明したり、伝えたりしている。	84%
②	あなたは、友達の思いや考えを大切にし、まずは受け止めることができる。(あなたはともだちとなかよくし、ともだちのいけんもきいてあげている。)	94%

③	あなたは、課題や活動に対して自分のよさや役割を自覚し、自分なりに目標をもって、取り組んでいる。	86%
④	あなたは、課題を解決しようと、粘り強く努力したり、友達と協力したりしながら、進んで取り組んでいる。	87%
⑤	あなたは、学習のまとめや活動をふり返って、分かるようになったことやできるようになったことなどが多くあった。	90%
⑥	あなたは、学校に行くのが楽しいですか。	83%
⑦	いじめはどんな理由があってもいけないと思いますか。	95%
⑧	学校生活であなたが困ったりなやんだりしたとき、担任の先生や周りの先生に相談することができますか。	82%
⑨	地域の人のお話やボランティアの方々に手伝って教えてもらうことにより、自分の活動や学習内容がさらに分かるようになり、できるようになったりした。	89%
⑩	自分には良いところがあると思いますか。	85%

子供たちの評価は82%から95%と、それぞれの項目で高い数値です。達成感、満足感が得られている表れだと思います。

コロナ禍以降、様々な制限がなくなり、学校も日常の活動や学習の交流ができるようになってきました。学習面ではグループになって意見交換をしたり、教え合ったりすることができるようになり、学びが深まるようになりました。また、それらを保護者の方も人数制限なく自由に参観会で見るできるようになりました。項目①～④の保護者評価が昨年より3～5ポイントほど上がっているのは子供たちの充実した活動の様子が保護者の方にも伝わっているからだと思います。

項目⑥「学校に行くのが楽しい」児童評価83%、保護者評価81%でした。学校が楽しい場所になっていると8割以上の児童、保護者が感じているという結果となりました。

項目⑦「いじめはどんな理由があってもいけないか」については、児童評価95%（5・6年生はほとんど100% 高学年になるにつれ数値は増えている。）教職員が日頃から生徒指導、学級指導をしている成果が出ています。また、繰り返しの指導により、学年が上がるにつれていじめはいけないという意識は高まっていることが分かります。現在、学校では以下のことを行っています。

- ・毎日帰りの会で「良いこと見付け」をし、みんなから認められる。
- ・毎週水曜日の朝活動の10分間「人間関係づくり」の時間を設定（学級レクや話を通した触れ合い活動が展開）
- ・保健室前の廊下に相談ポストを設置して悩みを紙に書けるようにしている。
- ・学期に1回「学校生活アンケート」を行い、それを基に子供面談を実施。状況に応じて該当学年、該当クラスの児童の聞き取りも行い、「校内いじめ対策委員会」を開き、対応を考える。
- ・子供からの訴え、保護者からの連絡により状況を把握次第、聞き取りを行い、「校内いじめ対策委員会」を開き、対応を考える。

12月末現在、本校では118件のいじめを認知しています。全てにおいて「いじめ対

策委員会」を開いて、その後の対応をしてきました。3か月未満はいじめ解消とせず、見守りを続けます。3か月经ったところで児童本人と保護者に解消しているかを確認します。12月末現在、解消は110件です。(8件は3か月未満のため継続認知)

いじめはどこの学校でも起こりうると思います。重要なのは「いじめを見逃さないこと」です。小さなできごとが、やがてその子にとって大きな不安にならないように職員、家庭、地域みんな、できるだけ早く気付いてあげることが大切だと思います。

項目⑨「保護者として、登下校の活動に取り組んだり、コミュニティ・スクールの一員となり授業や活動に講師やボランティアとして積極的に参加したりして、子供たちの活動や学び、安全のために協働している。」保護者評価64%(R6年度58%)となり、昨年度より5ポイント上昇しています。保護者の意識が少し高まってきました。子供たちの評価も89%と高いです。子供たちの学びの支援となっているコミュニティ・スクールの「いずみっこ応援団!!」の存在がとても大きいことが分かります。「いずみっこ応援団!!」はコミュニティ・スクールコーディネーターさんたちが仲介してくださっている地域の人財です。専門的な知識や技能で子供たちに説明や体験をさせてくださったり、見守りボランティアに協力してくれたりしています。保護者の方々も仕事がある中で協力してくださっています。職員からも「とても助かっている。」「続けてほしい。」という声が多数上がっています。

課題としては、項目①「自分の言葉で思いや考えを伝える」ことについて児童評価84%保護者評価71%でした。学習や活動の中で子供が自分の考えや意見が十分に言えていない現状を教職員も感じています。今後は発表したいことや言いたいことが言えるような学級づくり、授業展開を考えていく必要があります。あたたかな人間関係を築くためには、友達の思いや考えを大切に、受け止める心が大切です。集団生活の中で意見や考えが食い違うことはあります。伝えたいことを言った後は、みんなに納得できる答えをみんなで見つけます。時には譲り合いの気持ちで、時には折り合いをつけてより良い方向に向かっていけるよう子供たちを導いて支援していきたいと思っています。

アンケートへの御協力ありがとうございました。今後も学校教育活動に御理解・御協力をお願いいたします。

(文責：大石)